

OVEP 教師用指導案「アクティビティシート 22 オリンピック競技大会を通じた持続可能な開発」関連
「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」の意味

- 対象： 小学校低学年
- 本時のねらい： リサイクルを知り、その重要性を理解する。
- 準備物： 東京 2020 公式ウェブサイト、色鉛筆（クレヨン）
- 適用可能な学習時間： 総合的な学習の時間、道徳、学級活動 等

時間	学習活動	指導上の留意点	参照資料等
導入 (5分)	1) 本時の見通しを持つ 【発問】オリンピック・パラリンピックには何種類のメダルがありますか？	メダルには金・銀・銅の3種類があり、みんなが協力することでメダルを作る方法があることを説明する。	
展開 (20分)	2) メダルについて知る 金・銀・銅の3種類のメダルの絵を描く。 オリンピック・パラリンピックのメダルはたくさん必要だが、東京 2020 大会では、使わなくなったゲーム機、携帯電話やパソコンなどから作ろうとしていることを説明する。 他にアイロンやカメラも利用できることを知る。	色鉛筆やクレヨンを使ってワークシートに絵を描く。 全体が概ね塗り終わったら、「都市鉱山からつくるみんなのメダルプロジェクト」として、携帯電話・ゲーム機、パソコンなどからメダルを作っていることを説明する。	東京 2020 公式ウェブサイト「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」について
(15分)	3)内村航平選手（体操）や池崎大輔選手（ウィルチェアラグビー）のメッセージを読んで、メダルプロジェクトの大切さを理解する。	選手のメッセージを児童でもわかるように読んで説明する。	同ウェブサイト「アスリートからのコメント」
まとめ (5分)	不要になった携帯電話で金メダルが作れること、リサイクルすることの大切さを振り返る。	家にある使われていない携帯電話を探してみること、回収場所（市区町村の役場や郵便局など）にも言及する。	